

第3回都市計画マスタープラン策定委員会のご意見に対する町の考え方

委員	意見・質疑					町の考え方	修正の有無	修正頁
	有無	資料	頁	該当箇所	内容			
1 栗原 昭子	有	①④	25 78	地域別の名称	P.25のアンケート結果には「A地区、B地区、C地区」、P.78の地域別構想には「西部地域、北部地域、東部地域」と両方斑鳩町を三分割したことを表しているが統一することはできないか。	ご指摘をふまえ、「西部地域、北部地域、東部地域」に統一します。	有	25
		④	82	北部地域 主な地域資源	景観形成作物(コスモス)について、れんげ、菜の花、たんぼぼ、そばもあるのではないか。	町が景観形成作物としてすすめているものは、現時点で「コスモス、れんげ」であるため、景観形成作物(コスモス、れんげ)に修正します。	有	82
		④	82	北部地域 主な地域資源	文化財(建造物、史跡)について、中宮寺表御殿が抜けている。	ご指摘をふまえ、「中宮寺表御殿」を追加します。	有	82
		①④	69 82	公園・広場一覧、 北部地域 主な地域資源	史跡中宮寺跡歴史公園と史跡中宮寺跡の名称を統一した方がよい。	ご指摘をふまえ、「史跡中宮寺跡」に統一します。	有	69
2 菅原 素子	無							
3 武安 真嗣	無							
4 西梶 浩司	有	①	8	②人口構成比の推移	老年人口比率という表現は、介護保険制度等の中では、使用されていません。65歳以上の人口が総人口に占める割合を高齢化率と呼んでいますことから、斑鳩町介護保険事業計画・高齢者福祉計画では、「高齢化率(65歳以上の割合)」となっています。また、斑鳩町総合計画では、「65歳以上の高齢者の割合」となっています。他の計画と整合性をはかるべきであると考えますことから、敢えて比率という言葉を使用せず、「65歳以上の高齢者の割合が」とした方がよいのではないかと。	老年人口(65歳以上)は、生産年齢人口(15~64歳)や年少人口(0~14歳)と合わせて国勢調査で用いられている用語となります。本文には年少人口の割合も並列して表記することから、ご意見を踏まえ、「65歳以上の老年人口の割合が・・」 「0~14歳の年少人口の割合は・・」に修正します。	有	8
		①	62	二地域居住の受け皿	「二地域居住」とは、どの地域のこことか。「二地域居住」を削除した方がわかりやすいのではないかと。	二地域住居とは、用語解説にもあるように「都会(都市部)に暮らす人が、週末や1年のうちの一定期間を農山漁村(地方部)などの田舎で暮らすもの」であり、持続可能な地域の形成をめざすための地域づくりの担い手となる人材の確保につながるものになります。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、人の密集を避けるための新しい生活様式が求められていることから、「二地域居住」としてあります。	無	無
		④	84	写真	「歴史的町並みの残る西里や東里・・・」と説明されているので、東里だけでなく西里の町並みの写真も載せるべきだと思う。また、史跡中宮寺跡の写真も追加した方がよいと思う。	都市計画マスタープランに記載のある写真をすべて載せると膨大な量となることから、選別して他の地域と統一した数量で掲載しています。ご意見をふまえ、掲載写真については再度検討します。	有	84
		④	98	⑤景観形成の方針	「斑鳩町の里」→「斑鳩の里」の表現の方がよいのではないかと。	ご指摘のとおり「斑鳩の里」に修正します。	有	98
5 松久 喜樹	有	④	99	東部地域(1)地域特性 ①幹線道路や③歩道の確保や段差の解消、～など	町全体と比べて高くなっていることは統計上間違っははませんが、町全体と比較することが重要なではなく、強く住民から改善が求められていることである。P.104の(2)地域の主な課題では、いかるがパークウェイ完成待ちや道路からの景観計画になっており、改善策を取り上げていません。国道25号については、北部や西部地域の主な課題として取り上げられている。	ご意見をふまえ、P.104(2)地域の主な課題に「・国道25号は歩道が狭く、通行上危険な箇所が存在するため、歩道の設置や拡幅など交通安全対策が求められています。」を追加します。	有	104
		④	81 91 100		チャートを2011~2020の都市計画マスタープランと比べると項目8つであったのが、14に増えている。これから重要度の変化が見て取れる。そのうち3つは防災、3つは観光に関する項目である。準工業地域の環境整備や中小企業の支援についても重要項目に入ってきているようである。一方農業については、このチャートの項目から外れている。このチャートがつけられた根拠は、資料1のP.32の「斑鳩町の施策に関する満足度及び重要度のポートフォリオ」から来ているようである。アンケートから統計上はこうなるのかもしれませんが、全体のバランスを欠いているよう解せません。	P.32~P.37にかけて記載した優先度の高い施策について、地域住民のニーズを比較したもので、すべての項目を取り上げるには制約があるなかで、一定の意義のある項目選択と考えています。	無	無
		④	100~ 108	項目について	②の「土地利用の方針」に道路についての記述があり、④「道路・交通体系の整備の方針」と重複している。道路についてはすべての項目ですべてのことから混乱する。	ご指摘をふまえ、P.106②土地利用の方針」の2つ目の後半「とともに、アクセス道路の整備や魅力ある市街地景観の形成をはかります。」を削除します。	有	106
丸尾 尚史	有	④	80	地域の特性	P.81では、都市基盤整備等となっているが、P.80では都市基盤整備となっている。	ご指摘をふまえ、都市基盤整備等に修正します。	有	80
		④	81 90 99	居住意向	居住意向のグラフに関するコメントがありません。2,3のグラフと同様に全町と比較したコメントがあってもよいのではないのでしょうか。	ご意見をふまえ、追加します。	有	80 90 99

委員	意見・質疑					町の考え方	修正の有無	修正頁
	有無	資料	頁	該当箇所	内容			
7 水谷 知生		①	39	5)の図	平成30年度と27年度の結果を比較しているが、ほとんどの項目で30年度の回答率が高い。平成27年度調査では複数回答の上限を設けたといった条件の違いはないのか。条件が同じであれば、30年度結果の各項目の回答率が高い理由がわからないと、この2つの結果を並べて数値が変化したと分析することは難しいと思う。30年度結果だけ掲載すれば十分ではないか。	平成27年度の調査項目では、平成30年度の調査項目以外に他項目もあり、その設問を除外していました。ご指摘のとおり、単純比較できなくなりますので、平成27年度調査結果を削除します。	有	39
		①	39	5)の説明文	上のコメントと関連して、27年度との比較の段落は必要ないと思う。どの項目に関心が高いのかは、27年度と比較しなくても明らかでしょう。	上と同様に削除します。	有	39
		①	45~46	1)、4)の説明文	過去の調査結果との比較をする記述が2箇所見られますが、いずれも平成27年度と比較している。前回計画時との比較が重要なので、20年度結果と比較すべき。	居住意向については、平成20年度との比較が可能ですが、「日頃の意識や日常生活」に関しては、回答方法が異なるため、単純比較できないものになります。ご指摘をふまえ、文言修正します。	有	45
		①	45	2)の説明文2段落目	「家具の固定や非常食の備蓄・・・」などの回答は27年度と比較した分析がされていますが、P.30のグラフでは30年度の結果しか示されていません。しかし、P.30のグラフに27年度結果を入れるまでもなく、これらの項目は「あてはまる」という回答が圧倒的に低いので、防災意識が高くないという前提で課題を記述してはどうか。	上の考え方と関連していますので、ご指摘をふまえ、当該部分については平成30年度の結果を基に、文言修正します。	有	45
		①	46	5)の説明文最後	「また、そのためには、来訪者がもてなす・・・必要になってきます。」とありますが、調査結果の説明はないので、ここでの記述は適当でないと思う。	ご指摘をふまえ、削除します。	有	46
		①	48	都市づくりの課題(3)最後の項目	資源のネットワーク化については、町の現状や意向調査結果では特に抽出されていない事項かと思う。ここに記述する必要があるか検討願う。	P.36⑤「商工業・観光」施策の満足度及び重要度における④「斑鳩の里をゆっくり楽しむことができる仕組みづくりなど町内での滞在時間の拡大」やP.39斑鳩町の将来像において、「歴史的な文化遺産や町並みを生かし、観光客などが多くの人が訪れるまち」の調査結果から関連づけています。	無	無
		①	49	都市づくりの課題(4)3点目の項目	人口減少社会の到来を前提とした → 人口減少社会に対応する(すでに到来している)から	ご指摘をふまえ、「人口減少社会に対応する」に修正します。	有	49
		①	49	都市づくりの課題(4)4点目の項目	意味する内容がはっきりしませんが、感染症を想定する「新しい生活様式」に対応した職住環境の整備、ということか(図でも同じ)	「持続可能なまちづくりのための人口減少社会に対応するコンパクトなまちづくり」と「感染症を想定する「新しい生活様式(密集地の回避や職住環境の整備)」とのまちづくりの調和を意味します。	無	無
		④	85 95 104	最後の項目	感染症対策は防災性の向上に直結しないので、感染症対策について触れるのであれば、「・・・浸水対策、感染症対策が講じられた避難場所の確保など」とした方がよいのではないかと。	ご指摘をふまえ、「・・・浸水対策、感染症対策が講じられた避難場所の確保など」に修正します。	有	85 95 104
		④	89	⑤の1項目目	「・・・維持向上計画」の方針に即したまちづくり・・・とありますが、維持向上計画に位置付けられた「歴史的風致維持向上の基本方針」の5項目のうち、どの方針に即して具体的に何をを行うのか明示しないと記述の意味がないのではないかと。	ご指摘をふまえ、「・・・歴史まちづくり法に基づき策定した「斑鳩町歴史的風致維持向上計画」に基づく、歴史的風致維持向上施設の整備及び管理をすすめます。」に修正します。	有	89
		④	98 107	④の1項目目	「・・・パークウェイの早期の全線供用開始にむけ、取組みをすすめる・・・」はどのような取組みをすすめるのかを具体的に記述すべきではないかと。	ご指摘をふまえ、「・・・パークウェイの早期の全線供用開始にむけ、関係機関への要望をすすめることにより、・・・」に修正します。	有	98 107
		④	98 108	⑤の2項目目 ⑤の最後の項目	「・・・沿道に新しく立地するものについては、・・・」は「もの」の内容がわからないので、建築物や広告物、など具体的に明示すべきではないかと。	ご指摘をふまえ、「沿道に新しく立地する建築物や広告物などについては、・・・」に修正します。	有	98 108
		④	104	5項目目	「・・・もてなすのにふさわしい景観形成・・・」は、具体的な措置内容がはっきりしないので、削除するか表現を改めるべきではないかと。	ご指摘をふまえ、P.65 3.道路・交通体系整備の方針(4)法隆寺とJR法隆寺駅をつなぐ道の整備方針を「・・・沿道を含め、斑鳩町景観計画や斑鳩町歴史的風致維持向上計画に基づき観光客等をもてなすのにふさわしい景観の形成に取り組みます。」に修正します。	有	65
		④	111	2段落め	「・・・身近な問題を解決するために、主体的に・・・必要があります。そのために、みんなでより良いまちの姿について考え、それを実現するのに必要な活動を積極的に展開していくことが重要です。」の部分は、「主体的にきめ細かいまちづくりを担っていく」が具体的に何を担うのかははっきりしません。その部分を削除して「・・・身近な問題を解決するために、より良いまちの姿について考え、それを実現するために必要な活動を積極的に展開していくことが重要です。」としてはどうか。	ご指摘をふまえ、「・・・身近な問題を解決するために、より良いまちの姿について考え、それを実現するために必要な活動を積極的に展開していくことが重要です。」に修正します。	有	111
		④	111	3段落め	「・・・住民主体の計画づくりへの支援の仕組みづくりなどを実施していきます。」は、支援を行うと下の図では記しているの、 「・・・住民主体の計画づくりへの支援を実施していきます。」としてどうか。	ご指摘をふまえ、「・・・住民主体の計画づくりへの支援を実施していきます。」に修正します。	有	111
		④	113	冒頭	「本計画の実現化をはかるため、効果的に施策を実施できる推進体制を整えます。」を「本計画の実施にむけ、効果的に施策を実施できる体制を整えます。」としてどうか。	ご指摘をふまえ、「本計画を実施にむけ、効果的に施策を実施できる体制を整えます。」に修正します。	有	113

委員	意見・質疑					町の考え方	修正の有無	修正頁	
	有無	資料	頁	該当箇所	内容				
		④	113	(2) 全庁横断的な連携	「本計画のまちを実現化するためには、様々な・・・そのため、本計画に関して庁内の・・・」を「本計画を効果的に実施するためには、多岐にわたる施策の連携が必要であり、本計画に関して庁内の・・・」としてはどうか。	ご指摘をふまえ、「本計画を効果的に実現するために、多岐にわたる施策の連携が必要であり、本計画に関して庁内の・・・」に修正します。	有	113	
8	宮崎 亮	有	①	64	(1) 基本的考え方	国道25号で猫坂の交差点付近での歩道がまだ出ていない。この歩道は通学路でもあり、早急にしてほしい。現在は回り道をして通学をしている。	国道25号の安全対策(歩道拡幅)については、国の事業としてすめられているところであり、都市計画マスタープランでも課題として掲げているところです。本町としましても、国に対して事業実施にむけ要望していきます。	無	無
			④	97	②土地利用の方針	遊休農地の解消、発生防止にむけ農地の利活用をすすめるとともに担い手の確保に取組むとあるが何か手段があるのでしょうかお聞きしたい。	都市計画マスタープランについては、都市計画に関する基本的な方針(方向)を定めるものですので、具体的な取組みは実施主体において、この方針の基で行われていくものご理解ください。	無	無
9	川本 智裕	有	④	81	2. 都市基盤整備等の現在の満足度のグラフ	グラフの最大値が0.6と「ふつう」の1以下であるにもかかわらず、この書き方だと満足度が高い項目があるかのように見えてしまう。色分けなど一目見て誤解しないようなグラフにしてほしい。	色を豊富に使用すると、かえって主張したい部分が目立たなくなると考えます。そのため、誤解を受けないよう計算方法をレーダーチャートグラフの左下に記載しています。他の意見でもありましたが、地域によってレーダーチャートの範囲が異なっていますので、統一することで、より誤解を受けないように工夫します。	無	無
			④	88	④道路・交通体系整備の方針 ・広域自転車道である～	「拠点間を自転車で通行できる空間」とはどのような空間を想定しているのか、歩道の一部を自転車道とするやり方は歩行者にとっては危険で、自転車に乗る人にとっては走行性が悪くあまり良い方法と思わないので見直しが必要だと思う。	当然ながら、歩行者、自転車等の安全を確保することも重要であるため、安全対策を考えながら実施していくこととなります。拠点間のネットワーク化をはかるなかで、道路や周辺の土地などの状況に応じた対応が必要になりますので、実施計画の段階で、ご意見を参考にします。	無	無
			④	98 107	④道路・交通体系整備の方針	東部・西部地区にまたがる計画道路「安堵王寺線」は道路・交通体系整備の方針に全く触れられていないが、今後の方針はどうなっているのか。代替道路の整備が進んでいるなど、計画道路が進行していない理由を示してほしい。	P.64全体構想における(2)幹線道路の整備方針におきまして、「その他の未整備の都市計画道路については、近隣市町域を含む幹線道路の整備状況をふまえて、見直しや優先順位を含め、事業化を検討します。」としています。都市計画道路安堵王寺線はその名の通り、安堵町と王寺町を結ぶ計画であり、近隣市町域の幹線道路の整備状況などに鑑み、事業化の検討をしていくこととしています。現時点におきましては、いかなるがパークウェイや駅周辺整備などその他事業の進捗を注視しながら、検討していくものと考えています。地域別構想に都市計画道路の方針の記載がありませんので、西部地域、東部地域に「・未整備の都市計画道路については、近隣市町域を含む幹線道路の整備状況をふまえて、見直しや優先順位を含め、事業化を検討します。」を追加します。	有	98 107
			④	107	⑤景観形成の方針 ・JR法隆寺駅周辺地区は～	「斑鳩の里の玄関口としてふさわしい景観」とはどのようなものを想定しているのか。もう少し具体的な方針を示していただきたい。	ご指摘をふまえ、P.72 5. 景観形成の方針(4)市街地景観の形成を「JR法隆寺駅周辺については、斑鳩町景観計画における重点景観形成区域に位置づけるとともに、アクセス道路の整備などにあわせ、電柱類景観改善事業をすすめるなど景観計画に定める景観形成方針に基づき斑鳩の里の玄関口としてふさわしい景観形成をはかります。」に修正します。	無	無
		①	17	凡例	文字が小さくわかりにくい	修正します。	有	17	
		①④	32 81 91 100	P.32のポートフォリオと資料4のレーダーチャートの項目のたて方	資料1のP.32のポートフォリオの項目のうち道路・交通網、住宅・生活環境、商工業・観光についてはひとくりにしないで、資料4のレーダーチャートの項目のたて方に合わせたら良いのではないかと。P.32のポートフォリオに「公園の充実」の項目を追加する。	当該アンケート項目は約80個あることから、全体構想では類型別に整理し、ポートフォリオ分析を行っているところです。類型別の分析を基に上位5項目を、地域別では個別に分析しています。また、ご指摘の上で、「公園の充実」の項目追加ということですが、上記の分析から「住宅・生活環境」に公園に関するアンケート結果を記載しています。	無	無	
		①	53 64	だれもが	P.53では「だれもが」、P.64では「誰もが」と記載されており、統一すべき。	ご指摘をふまえ、「誰もが」に統一します。	有	53	
		①	57	図中	図中 お、か、き、が丸印で囲まれていない	「お、か、き」について、見やすさを考慮して修正します。	有	57	
		①	65	下から2行目	表現の仕方 いざなうは他動詞 ～を○○へいざなうといった使い方が通例	ご意見をふまえ、「歩行者や自転車などをJR法隆寺駅から法隆寺へいざなうためのルートとして沿道を含め、斑鳩町景観計画や斑鳩町歴史的風致維持向上計画に基づき、観光客等をもてなすのにふさわしい景観の形成に取り組みます。」に修正します。	有	65	
		①	72	12行目	「斑鳩の里に」を「斑鳩の里の」に書きかえる	ご指摘のとおり、「斑鳩の里の」に修正します。	有	72	
		④	80	18行目に追加・修正	「～なっていますが、」の後に、「①②③の項目については町全体と比べ際立って低く、他の項目でも総じて低くなっています。」と書き改める	ご意見をふまえ、「道路・交通網関係の項目(①②③)については、町全体や他の項目と比べても低くなっています。」に修正します。	有	80	
		④	91	満足度のレーダーチャート	⑤は赤線と重なっているのか。	僅かに全町の方が外側にあります。	無	無	

委員		意見・質疑				町の考え方	修正の有無	修正頁	
		有無	資料	頁	該当箇所 内容				
10	西尾 雅央	有	④	81 91 100	満足度のレーダーチャート	北部は - 1.00～0.60、西部は - 0.80～0.40、東部は - 0.80～0.60となっており、統一がとれていない。3地域揃えたら良いのではないか。	- 1.00～0.60の範囲のレーダーチャートに統一します。	無	無
			①④	55 107 110	主要拠点のうちJR法隆寺駅周辺地区の整備に関して	JR法隆寺駅周辺地区は交通拠点、観光拠点、生活拠点など多様な機能を持つ主要拠点として位置付けられているにもかかわらず、資料4市街地整備の方針として「商業施設の計画的な立地誘導をはかる」となっている。JR法隆寺地区を単なる消費の場と捉えるのではなく、生活の場として生活に必要な様々な機能を整備していくことが重要と考える。トイレやベンチの設置はもちろんのこと、居場所づくりとしての図書館機能、クリニックなどの誘導もあってよい、と考える。	当町としても、観光客等のための商業施設の立地だけを考えているものではなく、当然ながら住民等の生活拠点としての場であるとも認識しています。地域別構想では、特に主だったものをピックアップしているものであり、全体としては、P.61土地利用の方針(3)市街地の商業・業務地にもありますように、JR法隆寺駅周辺地区を中心に商業・業務施設の集積をはかるものとしています。参考意見として頂戴します。	無	無
			①④	64 88 107	幹線道路の整備方針、道路・交通体系の整備方針に関連して	いかるがパークウェイが完成したら、県道大和高田斑鳩線といかるがパークウェイとが交わる地点から北側、東西は斑鳩町役場からバス停中宮寺前至るエリアの交通規制をしてはどうか、観光客や歩行者の回遊性を高め、まちの活性化につながると思う。姫路市では駅前の北側大手前通り350メートルは公共交通機関のみが通行が許可されている。	姫路市におかれましては駅前再整備にあたり、駅前バスターミナル部分を含む一部の路線について、一般車両の交通規制を行っており、交通規制にあたって一般車両用のターミナル等が整備されているところです。観光客等まちあるき観光をすすめる上で、回遊性の向上は重要なものであり、具体的な内容につきまして、各種の計画で検討します。参考意見として頂戴します。	無	無
			④	111	協働のまちづくりの推進に関して	主要拠点のまちづくりについての進め方にあたって行政だけでなく、プランニングの段階から地元住民、商店街の人、専門家などを交えた勉強会を開きプランづくりに関与する仕組みをつくっていただくことを願う。	計画の実現にむけて、協働のまちづくりの推進は重要なものと考えており、都市計画マスタープランにも記載しているところです。まちづくりにおける各種事業をすすめていくにあたり、ご意見を参考に事業をすすめていきます。	無	無
			④	113	推進方策に関して	全庁横断的な連携はもとより、全庁的な推進委員会の設置が必要ではないか。	全庁横断的な連携をはかることとしておりますが、推進委員会の設置など連携手法については、各施策の実現に合わせて検討していきます。	無	無
			①	66	9行目から10行目	「観光案内サイン」、 「ポケットパーク」の用語を資料4の用語解説に書き加える。	ご意見のとおり、追加します。	有	116 119
			④	用語解説3	下から4行目	「無電中化」を「無電柱化」に書き改める。	ご指摘をふまえ、「無電柱化」に修正します。	有	118